



夏休み前のまとめ

出題範囲 I. 大きい数～7. しりょうの整理

名前
12
85

組番

思考・判断・表現

100
点

思考・判断・表現

- 問題の場面を考えて、答えを求めることができる。(1～3)
- 変化の様子がよくわかるようにくふうした折れ線グラフ、三角じょうぎを組み合わせた角度の問題がとける。(4～5)



力につける問題

- 1 下の表は、山中町と東川町の1年間の予算を表したものです。2つの町の予算の和は、90億円より何円少ないですか。

式・答え各10点[20]

山中町と東川町の予算(円)

山中町	3600000000
東川町	4800000000

(式) **問題のねらい** 大きい数の加法・減法を適用して解くことができるかどうかをみる問題です。

$$36\text{億} + 48\text{億} = 84\text{億}$$

式の採点基準

$$90\text{億} - 84\text{億} = 6\text{億}$$

~~~~の部分が正しければ、10点を配点してもよい。→1～3

(別式)  $3600000000 + 4800000000 = 8400000000$   
 $9000000000 - 8400000000 = 600000000$

答え ( 6億円  
(600000000円) )

- 2 57まいのカードを、3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになりますか。

式・答え各10点[20]

$$57 \div 3 = 19$$

筆算スペース  
(採点対象外)

$$3 \overline{) 57} \quad \begin{array}{r} 19 \\ 3 \\ \hline 27 \\ 27 \\ \hline 0 \end{array}$$

答え ( 19まい )

## 力につける問題

- 3 えん筆が512本あります。このえん筆を4本ずつのセットにします。130セット作るには、あと何本えん筆がいりますか。

式・答え各10点[20]

(式)

$$512 \div 4 = 128$$

$$130 - 128 = 2$$

$$4 \times 2 = 8$$

別式  
 $4 \times 130 = 520$   
 $520 - 512 = 8$

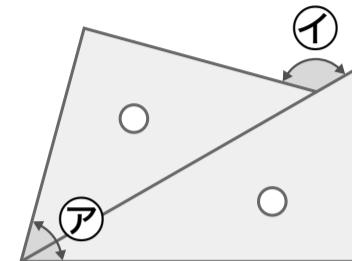
## 問題のねらい

設問文から、不足している数を考えることができるかどうかをみる問題です。

答え ( 8本 )

- 4 三角じょうぎを、次のように組み合わせました。Ⓐ、Ⓑの角度を求めましょう。

各10点[20]



Ⓐ ( 75° ) Ⓑ ( 135° )

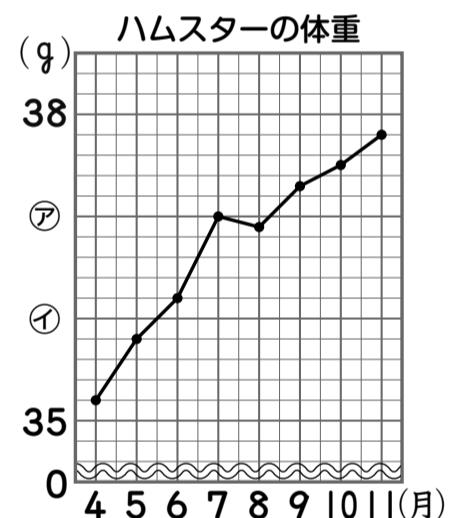
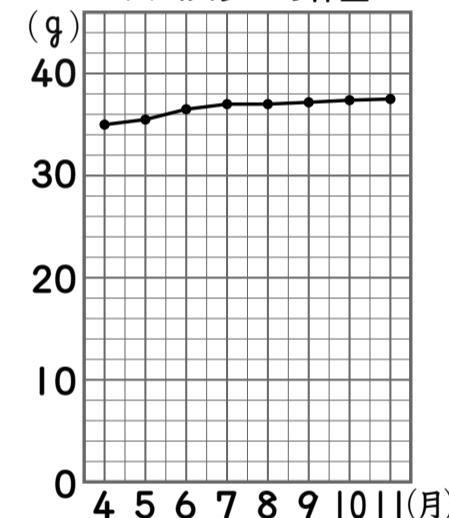
考え方  $45^\circ + 30^\circ = 75^\circ$   $180^\circ - 45^\circ = 135^\circ$

- 5 下の折れ線グラフは、ハムスターの体重の変わり方を表したものです。体重の変わり方がよくわかるように、右のグラフにかきなおしました。

各10点[20]

(12)

## ハムスターの体重



- ① たてのじくのⒶ、Ⓑの数を書きましょう。

(完答)

力につける問題 (Ⓐ 37 、Ⓑ 36 )

- ② 右のグラフをかくのにどのようにふうをしましたか。下の( )にあてはまる数を書きましょう。

● 必要のないところを~~~~で省いて、

1目もりを( 0.2 )gにした。

問題のねらい グラフを見やすくするための工夫について、考える問題です。



見なおしたら、○をつけましょう。 ( )